

# これからの時代に求められる 民間のあり方について

(公社)加賀青年会議所  
まちづくり委員会

# これからの時代

高齢化社会



子育て支援問題

教育問題



# 人口減少時代



# 人口減少社会は地域社会においてどのような影響が考えられるか

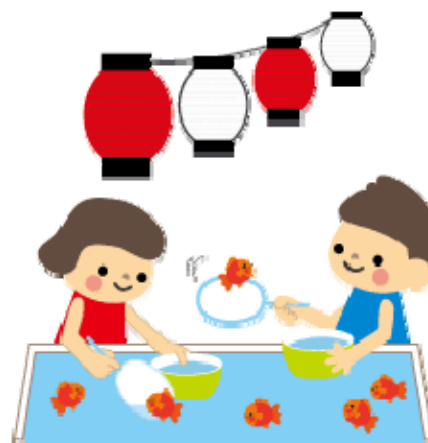
- 人や商店が少なくなり、町が暗くなって治安が悪くなる。

(地域のコミュニティ意識の希薄化。自治機能の低下)

- 商店が少なくなる。仕事が減り、ますます人口が減少していくことになる。



- 若者が減ることで、祭り、地域の行事が開催できなくなる。(地域の高齢化)
- 子供の数が減ることで、小中学校が統廃合され通学が不便になる。(公共サービスの低下)



このような地域の課題に対応するため、新たなまちづくりの担い手として、加賀市では民間団体、**NPO**法人、ボランティア団体などが自発的な活動を行っています。

- スポーツを通じた子供の教育を行っている団体



- 学校では学べないような参加型対話式授業を行っている団体



- 失われた歴史的遺産の修理、修復、再生をしている団体



- 地域のにぎわい作りや地域のイベント、祭礼のお手伝いをしている団体
- 地域のボランティアガイド講習会を行っている団体



- 市内に住んでいる外国人との交流を行っている団体



- 家庭支援事業(子育て、高齢者)を行っている団体

- 保育施設への送迎、学童保育、保護者のサポートなど子育て支援に関する幅広い事業を行っている団体



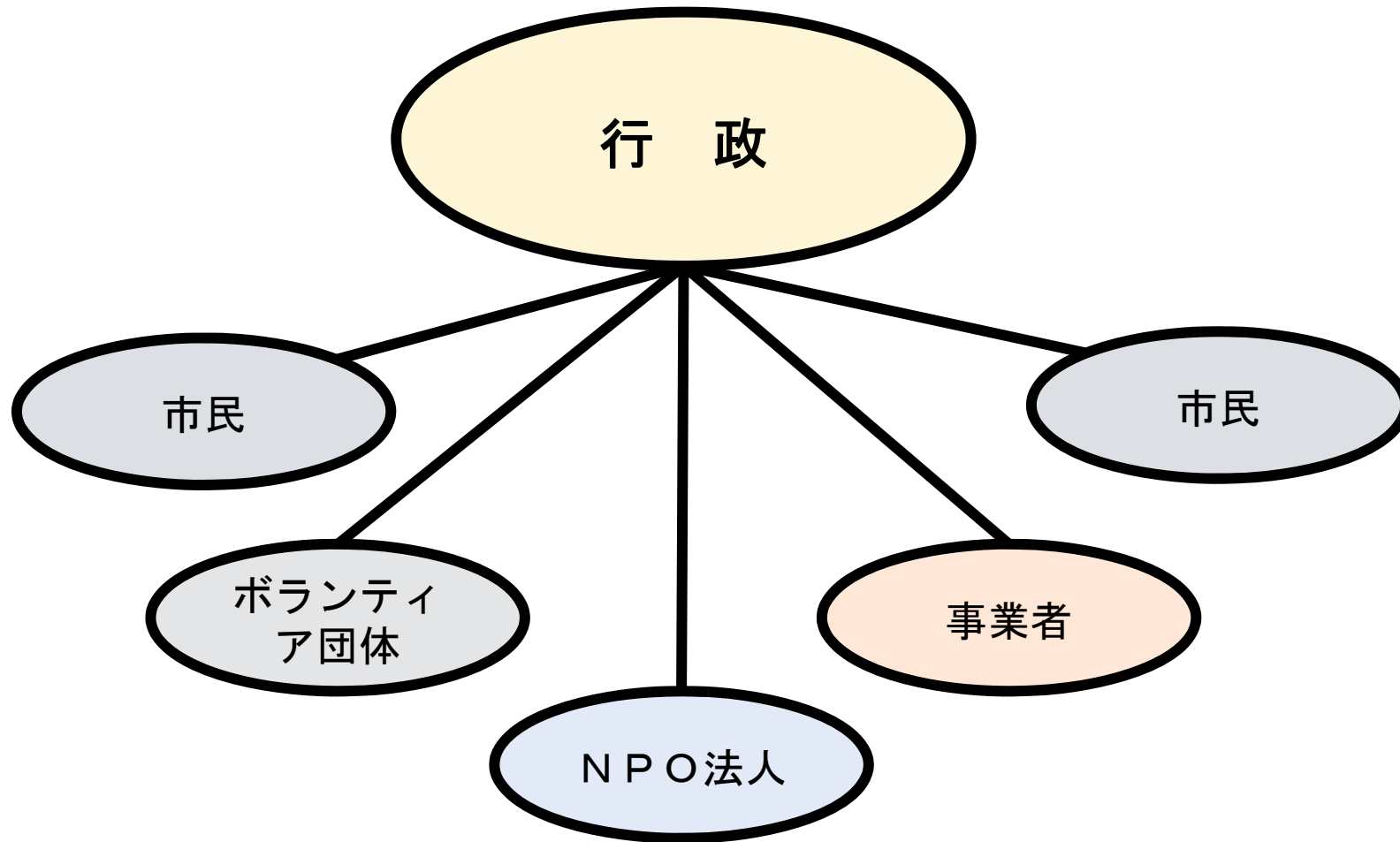
# 民間団体、NPO法人、ボランティア団体が抱える課題とは

- 会員数の減少・新規会員の確保
- 活動資金の減少・資金の確保
- 社会的理解、認知度が低い
- 活動環境が不十分
- 会員の高齢化
- モチベーションの維持





# 行政を中心とした従来の扇型モデル



# ネットワークの必要性について



加賀市には、行政だけではなく、たくさんの団体が自発的に様々な活動を行っています。

しかし、これらの団体にもそれぞれの課題を抱えています。

課題の解決のため、他団体とのネットワークを今以上に深めていく必要があると考えます。



# ネットワークを深めることで得られるもの

- 同じ活動分野であれば、1団体ではできないことも共同でおこなうことができる
- 各団体のイベントの告知を取りまとめて行うことで、情報の発信力が高まる
- 課題の解決について他団体から意見を聞くことができる



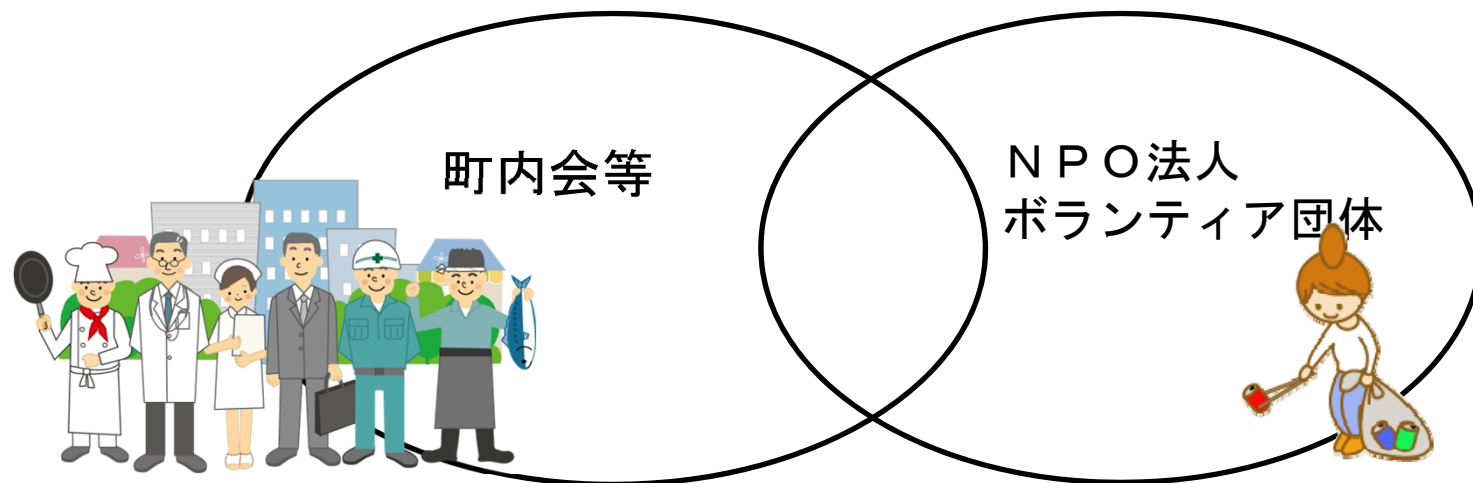
# 各団体のネットワークを融合した これからの理想のコミュニティとは

## 地縁型コミュニティ

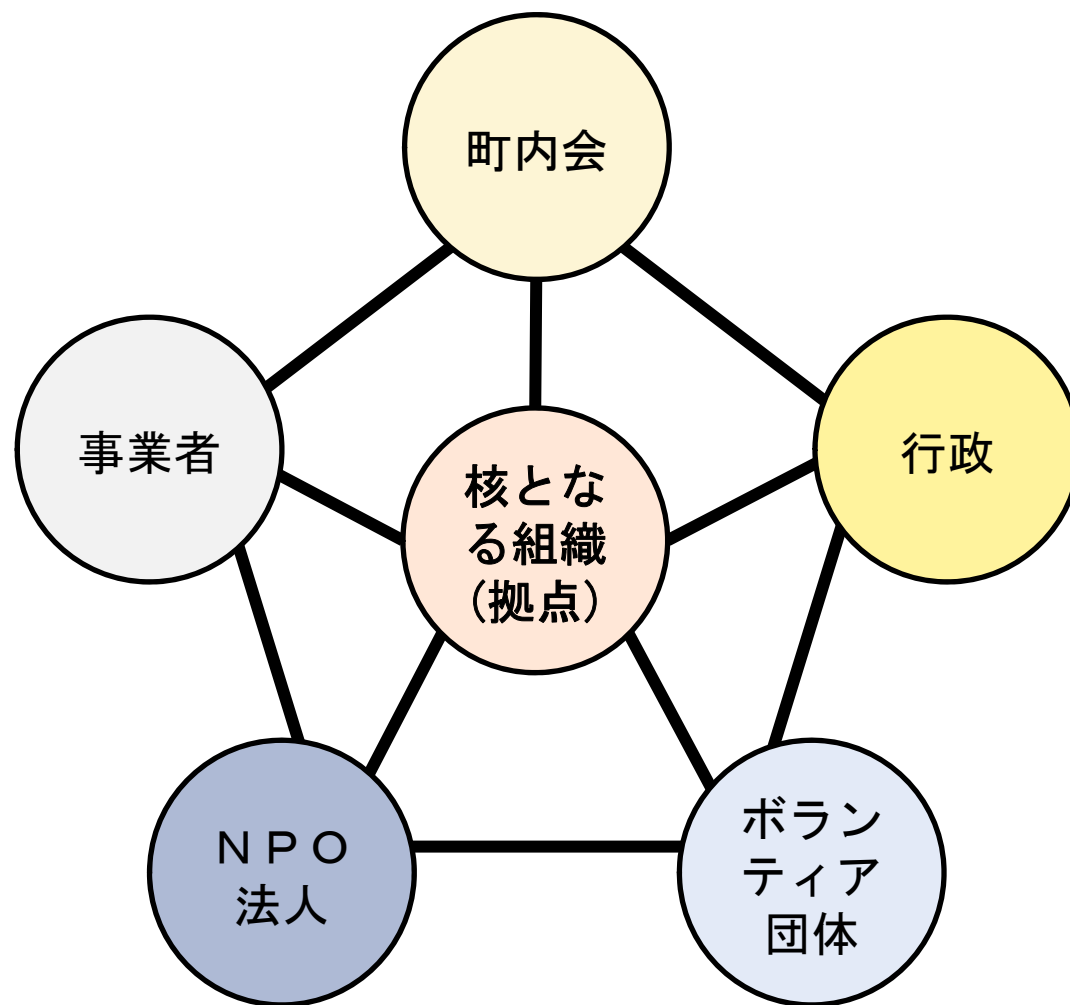
住んでいる地域を核にして形成されたコミュニティ(町内会、自治会)

## テーマ型コミュニティ

テーマや使命感を核にして形成されたコミュニティ(民間団体、NPO法人、ボランティア団体など)

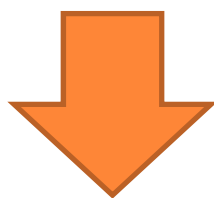


# 理想とされるコミュニティの姿 ＝「ネットワーク型コミュニティ」の確立



## ネットワーク型コミュニティとは

- 地縁型コミュニティは人口減少、コミュニティ意識の希薄化などの問題を抱えている
- テーマ型コミュニティはテーマの達成のためには地域との連携が重要であると感じている。



ネットワーク型コミュニティ



私たちが考える目指すべき  
民間のあり方とは

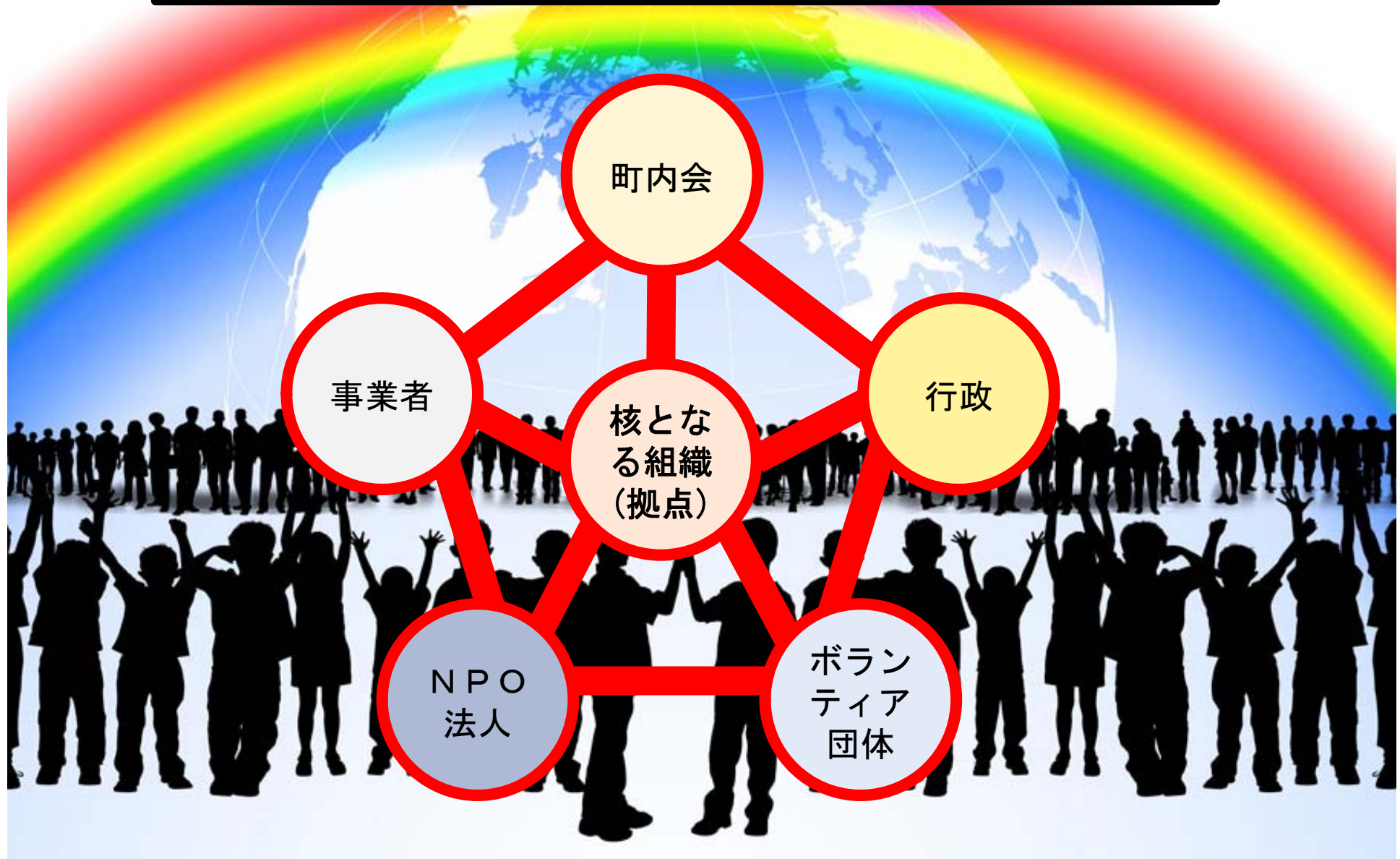
『まちの個性』

『まちの住みやすさ』

『市民の主体性』で町の活力を生み出す



# ネットワーク型コミュニティ





ご清聴ありがとうございました。

